



## 平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年9月8日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6097 URL <http://www.viewhotels.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 由明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢島 学 TEL 03-5828-4429 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成28年7月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	5,023	5.5	341	1.4	305	△4.1	212	△0.8
28年4月期第1四半期	4,759	9.4	337	392.9	318	353.8	214	ー

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 215百万円 (0.7%) 28年4月期第1四半期 214百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	21.94	21.82
28年4月期第1四半期	22.19	21.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第1四半期	24,769	14,504	58.6
28年4月期	24,162	14,543	60.2

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 14,504百万円 28年4月期 14,543百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	ー	0.00	ー	27.00	27.00
29年4月期	ー	ー	ー	ー	ー
29年4月期（予想）	ー	0.00	ー	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,770	10.8	820	10.4	750	8.9	460	8.2	47.53
通期	21,000	6.5	1,420	7.0	1,310	4.1	730	3.3	75.42

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 第2四半期(累計)および通期の業績予想の1株当たり当期純利益は、ストック・オプション行使分(6,400株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期1Q	9,680,825株	28年4月期	9,674,425株
② 期末自己株式数	29年4月期1Q	一株	28年4月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期1Q	9,675,433株	28年4月期1Q	9,646,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善傾向が続いているものの、中国経済の減速懸念や英国のEU離脱問題などの要因から円高や日本株の下落が生じるなど、今後の企業業績への影響が懸念される事象もあり、先行きの不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、国内の主要な都市を中心として新規に多数のホテルが開業するなど、競合環境が激化しているものの、政府の観光立国推進に向けた政策を背景とする訪日外国人旅行者数は過去最高を記録するとともに国内需要の回復もあり、宿泊部門を中心として堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、平成28年4月期からの3ヶ年の中期経営計画「VIEW HOTELS V-STAGE 280」の基本方針1)既存施設での継続的な設備投資、2)新規ホテル・旅館の展開、3)新規事業の展開に基づき、既存事業の持続的な成長と事業基盤の拡大のための取組みを進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,023百万円（前年同期比5.5%増）となり、営業利益は341百万円（前年同期比1.4%増）、経常利益は305百万円（前年同期比4.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は212百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	3,920	4,203	282	276	320	44	502	552	50
施設運営事業	463	438	△24	△0	△8	△8	6	△3	△9
遊園地事業	399	403	3	59	27	△31	74	46	△27
合計	4,783	5,045	261	335	339	4	583	595	12
調整額	△24	△22	2	1	1	0	1	1	0
連結数値	4,759	5,023	263	337	341	4	584	597	12

(\*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

## ①ホテル事業

ホテル事業では、宿泊部門において引き続き拡大傾向にある訪日外国人旅行者マーケットへの対応としてインターネットによる集客に注力いたしました。また団体旅行等の早期獲得による1室当たりの利用人員増および需要動向予測に基づく料金プランの設定による1室当たりの売上高の最大化を図った他、前連結会計年度の11月に開業いたしました両国ビューホテルが主に客室売上などの業績に寄与いたしました。宴会・レストラン部門では、前連結会計年度に実施いたしましたレストランの改装効果の他、浅草ビューホテルで「宮崎フェア」などのイベントを実施したこと等により、業績は好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は4,203百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は320百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

## ②施設運営事業

施設運営事業では、「ぎょうけい館」や「ホテルプラザ菜の花」を中心に、インターネットでの宿泊プランの充実を図るとともに、ビルメンテナンス事業の営業力の強化を図りました。なお、前連結会計年度の3月に保養所の受託契約が1件終了したことにより、前連結会計年度と比べ売上高等が減少しております。

これらの結果、売上高は438百万円（前年同期比5.3%減）、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

## ③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、花火大会やナイトイルミネーションなど話題性のあるイベントにより集客に努めた他、7月には新規事業として「那須の恵み Me k k e（めっけ）！ プッフエ&マルシェ」をオープンいたしました。遊園地に入園しなくても利用できる施設として、プッフエレストランとマルシェを新たに展開することにより、業績の向上に努めております。

これらの結果、売上高は403百万円（前年同期比0.8%増）、「那須の恵み Me k k e（めっけ）！ プッフエ&マルシェ」の開業費用の計上などにより、営業利益は27百万円（前年同期比53.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、24,769百万円（前連結会計年度末24,162百万円）と、606百万円増加いたしました。

うち流動資産は、4,670百万円（同5,260百万円）と、590百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、20,098百万円（同18,901百万円）と、1,196百万円増加いたしました。これは、主に「那須の恵み Meekke（めっけ）！ ブッフェ&マルシェ」の新設による固定資産の増加、また平成29年5月および平成30年4月にそれぞれ開業予定の「札幌ビューホテル大通公園」「大阪ビューホテル本町」の賃借に伴う保証金の差入による固定資産の増加によるものであります。

## ②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、10,264百万円（前連結会計年度末9,618百万円）と、645百万円増加いたしました。

うち流動負債は、4,599百万円（同4,876百万円）と、277百万円減少いたしました。これは、主に買掛金および1年以内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

固定負債は、5,665百万円（同4,742百万円）と、923百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

## ③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、14,504百万円（前連結会計年度末14,543百万円）と、39百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加があったものの、剰余金の配当の支払いによって減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、58.6%（前連結会計年度末比1.6ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年6月9日の「平成28年4月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,572	3,163
売掛金	869	842
貯蔵品	211	196
繰延税金資産	137	108
その他	471	360
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,260	4,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,066	10,426
機械装置及び運搬具（純額）	259	274
工具、器具及び備品（純額）	570	618
土地	5,974	5,974
建設仮勘定	226	289
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	17,097	17,583
無形固定資産		
借地権	1,380	1,380
その他	25	24
無形固定資産合計	1,405	1,404
投資その他の資産		
投資有価証券	40	40
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	168	165
その他	195	907
貸倒引当金	△99	△98
投資その他の資産合計	399	1,110
固定資産合計	18,901	20,098
資産合計	24,162	24,769

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,026	861
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	1,389	1,242
リース債務	44	37
未払金	1,306	1,555
未払法人税等	190	67
未払消費税等	174	141
賞与引当金	241	137
ポイント引当金	34	35
その他	303	354
流動負債合計	4,876	4,599
固定負債		
社債	418	418
長期借入金	3,203	4,163
リース債務	78	81
退職給付に係る負債	594	582
資産除去債務	47	47
長期未払金	245	218
その他	153	153
固定負債合計	4,742	5,665
負債合計	9,618	10,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,766	2,769
資本剰余金	1,686	1,689
利益剰余金	10,085	10,036
株主資本合計	14,538	14,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
退職給付に係る調整累計額	3	6
その他の包括利益累計額合計	4	8
純資産合計	14,543	14,504
負債純資産合計	24,162	24,769

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	4,759	5,023
売上原価	1,199	1,224
売上総利益	3,560	3,798
販売費及び一般管理費	3,223	3,456
営業利益	337	341
営業外収益		
償却債権取立益	—	17
その他	24	20
営業外収益合計	24	37
営業外費用		
支払利息	23	20
株式公開費用	10	—
支払手数料	3	50
その他	5	3
営業外費用合計	42	73
経常利益	318	305
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	4	7
特別損失合計	4	7
税金等調整前四半期純利益	314	302
法人税、住民税及び事業税	28	59
法人税等調整額	71	30
法人税等合計	99	89
四半期純利益	214	212
親会社株主に帰属する四半期純利益	214	212



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	214	212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
退職給付に係る調整額	△1	3
その他の包括利益合計	0	3
四半期包括利益	214	215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	214	215

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,912	447	399	4,759	—	4,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	15	0	24	△24	—
計	3,920	463	399	4,783	△24	4,759
セグメント利益又は損失 (△)	276	△0	59	335	1	337

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,197	422	402	5,023	—	5,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	16	0	22	△22	—
計	4,203	438	403	5,045	△22	5,023
セグメント利益又は損失 (△)	320	△8	27	339	1	341

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。